

施策253

「美し国おこし・三重」の新たな推進

【主担当部局： 地域連携部】

県民の皆さんとめざす姿

地域住民、企業、NPO等のさまざまな主体が、「アクティブ・シチズン」として自主的・主体的に地域づくり活動を行うことで、人と人、人と地域、人と自然の絆を深め、特色ある地域資源を生かした自立・持続可能で元気な地域づくりが進められています。

平成27年度末での到達目標

県内各地で、地域づくりの担い手育成が進み、自主的・主体的に地域をよりよくしていこうとする住民の皆さんによる、特色ある地域資源を生かして地域の魅力や価値を向上させる活動が展開されるとともに、地域内外や分野を問わず交流・連携の輪が広がっています。

評価結果をふまえた施策の進展度と判断理由

進展度 *	B (ある程度進んだ)	判断理由	県民指標については目標を達成しましたが、活動指標において目標を達成できなかったことから、「ある程度進んだ」と判断しました。
----------	----------------	------	---

【*進展度：A（進んだ）、B（ある程度進んだ）、C（あまり進まなかった）、D（進まなかった）】

県民指標						
目標項目	23年度	24年度		25年度		26年度
	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	27年度 目標値 実績値
地域の活動などに参加している住民の割合	33.6%	34.6%	36.0%	1.00	40.0%	40.0%
		33.8%	46.4%			
目標項目の説明と平成26年度目標値の考え方						
目標項目の説明	e-モニターを活用した調査で、地域の活動への参加状況について、「積極的に参加している」、「お付き合いで参加している」と答えた人の割合					
26年度目標値の考え方	平成26年度までのパートナーグループの増加をもとに、住民への活動の広がりを年1%の増加と見込み、さらに、「美し国おこし・三重」の取組は、取組の最終年に向けてさらなる広がりが見込まれることから、より高い目標設定を行うこととし、平成26年度の目標値は40.0%と設定しました。					

活動指標								
基本事業	目標項目	23年度	24年度		25年度		26年度	27年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	
25301 「地域での美し国おこし」の推進 (地域連携部)	パートナーグループ登録数(累計)	342 グループ	700 グループ	900 グループ	0.43	1,000 グループ	1,000 グループ	
			513 グループ	681 グループ				

基本事業	目標項目	23年度	24年度	25年度	目標達成 状況	26年度	27年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値		目標値 実績値	目標値 実績値
25302 イベント 手法を活用した 情報発信力のある 取組の展開 (地域連携部)	パートナーグループ ネットワーク構築数 (累計)		2,100	2,700	0.79	3,000	3,000
		388	1,455	2,441 (H26.2.14)			

(単位：百万円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
予算額等	178	161	163	164	
概算人件費		126	129		
(配置人員)		(14人)	(14人)		

平成25年度の取組概要

- ①座談会や説明会等を市町と調整のうえ平成25年度は776回、取組の開始以降3,303回開催
- ②パートナーグループに、170グループが新たに登録、平成25年度末で681グループが登録
- ③専門家派遣を、22件(延べ60回(日))実施
- ④パートナーグループによる地域づくりを進めるため必要な初期投資にかかる経費を対象に、パートナーグループに対して8件、市町が参画する実行委員会に対して1件、計9件、市町と合わせて約545万円(うち実行委員会負担約278万円)の財政的支援を実施
- ⑤地域や活動分野を越えた連携・交流のきっかけづくりや「美し国おこし・三重」の取組をアピールするための拡大座談会を36か所で開催し、2,431人が参加
- ⑥平成26年の「^{えんぱく}縁博みえ2014」のプレイベントとして、「^{えんぱく}プレ縁博みえ」を9月～12月に実施。パートナーグループ等が企画・実施する「^{えんぱく}プレ縁博イベント」や県・市町・企業等が企画・実施する「^{えんぱく}プレ縁博パートナーシップイベント」など、422件のイベントが県内各地で展開
- ⑦「^{えんぱく}プレ縁博イベント」の一つとして、平成22年～24年に展開してきた「テーマに基づき全県的に取り組む美し国おこし」(「海の命・森の命」、「地域の誇り・地域の夢」、「つむぐ想い・つながる心」)をもとに、新たな展開方法や規模の拡大など創意工夫を行い、地域資源の付加価値を高め、元気な地域づくりにつながるモデルとなる「^{えんぱく}プレ縁博イベント」企画提案モデル事業をパートナーグループを含むグループ・団体へ委託し9事業を実施
- ⑧『^{だいえんかい}プレ三重県民大縁会』～^{えん}縁ジョイ!みえの地域づくり～を12月に開催し、約8,180人の参加・来場者数を記録
- ⑩平成26年の県民力拡大プロジェクトに向けて、県内外からの注目を喚起し、県内外の皆さんの参加・参画につなげていくため、『^{えんぱく}プレ縁博みえ』ガイドブックの発行や「地域情報誌」の活用、懸賞プログラム、路線バス・鉄道車両の活用、PRキャラバン、「^{えんぱく}縁博みえ2014」キックオフイベントなど、さまざまな情報発信を実施

平成 25 年度の成果と残された課題（評価結果）

- ① パートナーグループに、平成 25 年度は 170 グループが新たに登録し、合計 681 グループになるとともに、パートナーグループ「39 の輪」のイベント「ピンクエクスプロージョン」や「M's Total Produce」の「～度会縁遊祭～Joint」、「ふらり人。」の「きほく とっておき☆NAVI」等、複数のグループが連携した取組事例も増えているなど、地域の皆さんが地域づくりに自発的に取り組む機運も着実に向上しています。
- ② 「県民力拡大プロジェクトプレイベント」では、地域づくりの博覧会「^{えんぱく}プレ縁博みえ」に、パートナーグループ等が実施する 422 件のイベントがエントリーされ、「^{だいえんかい}プレ三重県民大縁会」の参加・来場者も前年に比べて約 2.2 倍の約 8,180 人となるなど、「^{だいえんかい}美し国おこし・三重」の取組に広がりが見られるようになってきました。
- ③ パートナーグループアンケートの「活動の充実度」についても、平成 22 年度から 70%前後で推移してきたものが、平成 25 年度は 80%を上回るなど、グループ活動の自立・持続に向けた支援の成果が表れてきています。
- ④ しかし、この取組があと 1 年であるということを勘案すると、取組が終了した後も自立・持続可能で元気な地域づくりが続けられるよう、県内の中間支援組織・機能との連携を一層密にし、グループ同士の広域的なネットワークづくりなどの支援を地域の実情に応じた形でさらに進めていく必要があります。
- ⑤ また、「^{だいえんかい}県民力拡大プロジェクト」については、単なるイベントで終わらせることなく、グループ活動の自立・持続につながるようなものにする必要があります。

平成 26 年度の改善のポイントと取組方向（地域連携部 次長 紀平 勉 電話 059-224-2420）

- ① 「^{だいえんかい}美し国おこし・三重」の取組終了後の姿を見据えつつ、プロデューサーの助言や専門家派遣、広報支援、ネットワーク化支援、財政的支援など、「^{だいえんかい}地域での美し国おこし」に引き続き取り組みます。
- ② 「^{えんぱく}県民力拡大プロジェクト」（^{えんぱく}縁博みえ 2014、^{だいえんかい}三重県民大縁会、第 32 回地域づくり団体全国研修交流会三重大会）を通して、グループ内の取りまとめやイベントの企画・運営を行っていく中心的な役割を担う人材の育成、ならびに他グループとの交流を進めていくことにより、グループ活動の自立・持続につなげていきます。

* 「○」の着いた項目は、平成 26 年度に特に注力するポイントを示しています。

